

Michiko Masuyama Soprano Recital

『二期会創立60周年をお祝いして』

増山美知子

第53回 ソプラノリサイタル

日本歌曲『みんなの歌』と『スペイン歌曲』の夕べ

ピアノ 西津啓子

2012.11.15(木)

開演19時(開場18時30分)

会場: 王子ホール

料金: 5,000円(全席自由)

Program

第1部

みんなの歌の日本歌曲

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 出船 | 6. 中国地方の子守唄 |
| 2. 浜辺の歌 | 7. 椰子の実 |
| 3. 城ヶ島の雨 | 8. 九十九里浜 |
| 4. 鐘が鳴ります | 9. ねむの木 |
| 5. この道 | 10. おやすみ |

第2部

スペイン歌曲

11. さようなら恋しい人 セファルディー民謡
 12. ラ・タララ アンダルシア民謡
 13. マル・セリーノの唄~映画『汚れなき悪戯』より P.ソロサバル
 14. セビーリャの小径 アンダルシア民謡
 15. 鳥の歌~クリスマス之歌 カタルーニャ民謡
 16. La mi sola, Laureola ラ・ミ・ソラ ラウレオーラ
 17. Corazón Porque pasais 心よお前は どうして
 18. El majo celoso 嫉妬ぶかいマホ
 19. Dos cantares populares a いちばん細い髪の毛で b あんたの家の水かめに
 20. Coplas da Curro Dulce クーロ・ドウルセの唄
- 16~20 作者 フェルナンド・オブラドルス



後援: スペイン大使館

【後援】スペイン大使館/公益社団法人 日本演奏連盟/公益財団法人 東京二期会

【問い合わせ】チケット取扱い: 二期会チケットセンター Tel.03-3796-1831/東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650/
王子ホールチケットセンター Tel.03-3567-9990 マネジメント: 公益財団法人 東京二期会

増山美知子 (声楽家/ソプラノ) Michiko Masuyama

東京女子大学短期大学部卒業。同年、東京芸術大学音楽学部声楽科入学。オペラ科を経て同大学卒業。在学中、矢田部勤吉氏に師事。ミラノではカンポ・ガリアーニ氏、ジュリー・テッス氏、ロゼッタ・エリー氏に師事。ドイツ系の曲は中山悌一氏、ゲルハルト・ヒッシュ氏、バイゼン・ボルン氏他に師事。安宅賞受賞2回。国際芸術文化賞受賞。アメリカよりフェローの称号を受ける。文化庁長官表彰受賞。2006年11月9日園遊会にお招きを受け、両陛下よりお言葉を賜る。オペラでは「ラ・ボエーム」のミミ、「カルメン」のフラスキータ (大阪府芸術祭受賞、指揮：秋山和慶氏、演出：栗山昌良氏)、「イエヌーファ」の村長夫人 (指揮：若杉弘氏、演出：プシェミル・コチ氏)、「魔笛」のパミーナ等に出演。

「第九」のソプラノソロの他、オラトリオではオーケストラ伴奏によるモーツァルト「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」、シューベルト「レクイエム」、ベルゴレージ「スターバト・マーテル」、「クリスマスオラトリオ」、「メサイア」ソプラノソロを歌う。

リサイタルはこれまでに52回行った。

主なものとしては、シェーンベルクの日本初演をはじめ、ドイツリートとアリア、日本歌曲とアリア、イタリア歌曲とアリア、日本歌曲と日本のオペラアリア、レスピーギ歌曲のみ (1980年芸術祭参加。後年ビクターよりLPになり1984年にはイタリアのボン・ジョバンニ社の要請によりビクターより輸出され完売。お礼に未出版のレスピーギ歌曲の楽譜を頂き、後年レスピーギ歌曲集上・下巻の楽譜として音楽之友社より出版) やアルファード歌曲のみのリサイタル。

地方都市でのリサイタルとしては、宮城道雄氏生誕百年記念演奏として朝日新聞社主催のリサイタル、海外の演奏の成果に与えられた国際芸術文化賞受賞記念演奏としての「子供の不思議な角笛」全曲演奏 (東京交響楽団伴奏)、大垣商工会議所主催のリサイタル、札幌の北電コンサート、宇部好楽協会の招きによるリサイタル等。

海外のリサイタルとしては、東京都・ニューヨーク姉妹都市25周年記念事業としてカーネギーホールでのリサイタル (1985年)、ポーランドのパデレフスキー国際フェスティバル (成功により国営Iチャンネルに出演)、「イタリア年」として政府主催のトリノとローマでのリサイタル、ドイツにおける“日本年 (ベルリンのNHKにより、ドイツ、日本にリサイタルがオンエアされた。又、朝日新聞にも取り上げられた)”として政府主催でベルリンとデュッセルドルフにて (2000年)、“アセアン年”として政府主催のシンガポールとマレーシア大使館主催のリサイタル、“オーストラリア年”として認定を受け、パースとメルボルンにて大使館主催のリサイタル (2006年11月)、政府主催でインド (ニューデリーとプネ) (2007年11月) 等、海外で22年間行った。この他にドイツ数回、イタリア3回、ハンガリー3回、フランス3回、オーストリア3回、スイス2回、ポーランド2回、チェコ2回、スウェーデン・フィンランド・ルーマニア・韓国各1回。ポーランドでは1度の渡欧で9ヶ所で演奏することもあった。

国内では、主要オーケストラと1974年から1990年まで17年間、年1回~2回の割合でオペラアリアを歌って共演。NHK・BS2では日本の抒情歌の他、度々放送された。紀尾井ホールではニューイヤーコンサート、2007年4月に歌とお話をした。オペラシティ大ホールだけでも1999年10月13日、2001年10月11日、2004年12月22日、2005年10月12日に4曲~7曲歌う等、小さい音楽会は枚挙にいとまがない。

ここ2、3年の活動としては、2010年から2011年にかけて、スペイン マドリッドにてフィーリオ氏に師事。2011年には東日本大震災のチャリティー演奏を依頼され、どうやってお見舞いをしようかと思案中だったためすぐに引き受け、ドイツ文化会館でトリとして4曲歌い (7月31日)、同年11月9日、10日には、日独友好条約150周年記念としてフランクフルトのボンハイム劇場 (800人収容) で4曲歌った。

CD関係は、レスピーギのLPに次いで1993年宮城道雄作品大全集のCDの内、歌曲の部で録音参加し、ビクターより発売された。コロムビアより全国発売として「日本歌曲集」(1995年) や「アルファード歌曲集」(1996年)、「金子みすずをうたう」(2005年)。コンピレーションアルバムとして、コロムビアより二期会メンバーのプリマドンナたちによる美しき日本語の歌「なごみの歳時記」に選ばれた (2011年)。著として『発声について』(大学紀要。現在CiNiiとして国会図書館に登録されている)、『発声のABC第7巻』(音楽之友社)、『レスピーギ歌曲全集上巻』(1998年)・『下巻』(1999年) がある (音楽之友社)。

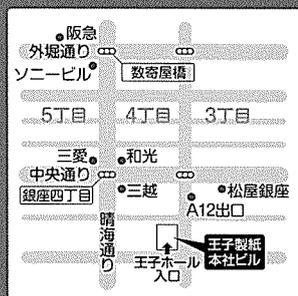
現在、二期会会員、日本演奏連盟会員、日伊音楽協会正会員、日独協会会員。



西津 啓子 (ピアノ) Keiko Nishizu

東京芸術大学ピアノ科卒業。日本演奏家協会主催フランス音楽コンクール優勝。国際芸術連盟オーディション合格。同連盟主催「日本現代音楽展」、「20世紀ピアノ音楽の領域」、「日本歌曲の潮流」~他に出演。また日本作曲家協議会主催「JFCアンデパンダン」、「楽譜出版記念コンサート」等において邦人作品を多数初演。ソロや初演を含む現代邦人作品のCDをリリースしている。近年は「かん芸館」(荻窪)、ピアノ・カフェ・シヨパン (町田) 等にて毎月定期的にサロン・コンサートを開催。国際芸術連盟演奏家会員。日本ドイツ・リート協会会員。全日本芸術協会コンクール審査員。

ウェブサイト <http://members3.jcom.home.ne.jp/keinishizu/>



Access

会場 王子ホール 中央区銀座4-7-5

- JR「有楽町」駅下車 「銀座口」から徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線「銀座」駅下車 ... 「A12出口」から徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・有楽町線「銀座一丁目」駅下車 「9出口」から徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅下車 「A2出口」から徒歩2分